

整備前



整備後



安全性と利便性が向上 市道青野豊里線 拡幅整備完了



市街地中心部の幹線道路「市道青野豊里線」の拡幅工事が完了。5月15日の開通式後、供用開始されました。



便利になりました

青野町自治会長
山口和茂さん

安心して通行できるようになり、大変喜んでます。私たち地域住民にとって大切な生活道路ですが、幅が狭く、車の行き違いが困難でした。ここを通るとまちなかにアクセスしやすいので車の通行も多く、スピードを出した車が通ると自転車や歩行者は不安を感じていました。

今回の拡幅で、人も車も流れがスムーズになりました。また、この道は市立病院に通じる道でもあり、迅速な救急救命活動につながることを願っています。

まちのなかのまちを創出

JR綾部駅北口は、民間に

行が可能な2車線となり、安全に通行できるようになりました。また、同線が結ぶJR綾部駅北口と綾部市立病院のアクセスが向上し、市街地の交通緩和も期待されます。

よる住宅団地や商業施設などの開発が進むエリア。また、新しい社会体育施設や北部産業創造センター(仮称)の公共施設の整備なども予定されています。今後ますます同エリアへの人の流れが活発になることで、市街地の活性化が期待されます。

幅員10・2車線

市道青野豊里線は延長530mで、拡幅後の幅員は10・2車線。車道が7m、歩道が3・2mになりました。市が平成23年度に測量に着手して以降、設計や調査などを行い平成26年度から改良工事を開始。平成29年度までに総事業費約4億7000万円で整備しました。

交通利便性向上

今回の改良工事では、片側に歩道を整備。車道も対面通

同線は、市道青野井倉線と市道高津旭線とを南北に結ぶ路線。地域の皆さんに欠かれない生活道路、通学路として車両も歩行者も多くの往来があります。以前は幅員約3mと狭く、安全の確保が課題でした。

